

(別紙4(2))

事業所名 : グループホーム美ら里さしき

作成日 : 平成 25 年 9 月 11 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年2回の消防訓練を実施しているが、地域住民の協力体制がない。今後は火災に限らず、地震、津波を想定した訓練が必要であるが、各種災害マニュアルの整備に至っていない。早急に各種マニュアル整備、備蓄の備えが必要である。	地域住民や関係機関との協力体制を築き、様々な災害に対応するマニュアルの整備、訓練を行なう。	①災害時の連絡体制及び備蓄(食材、生活用品)の確認を行なう。 ②業務ミーティングで、各種災害を想定した話し合いを行なう。日常的に災害時の対応方法について情報を共有して災害への意識を高める。 ③運営推進会議での情報交換・協力の依頼 ④行政機関及び、インターネットからの情報を基に各種マニュアルを整備する	12ヶ月
2	10	意見箱を設置しているが利用がなく、受診や面会時に入居者の相談が大多数を占めるが、苦情、ホーム運営に関しての相談がない。家族会を開催し、意見交換の場を設けているが意見がない。家族からの意見、要望が言い易いホーム運営が必要がある	家族が気兼ねなく意見を言い易くなるようホーム(職員含む)の雰囲気作りに努める。	①意見箱設置場所の移動を行なう ②職員は挨拶、笑顔で心がけ、家族の話を聞く姿勢に努める。 ③年1回、アンケートを実施して家族からの意見を引き出す。	12ヶ月
3	4	議題が事業所報告が主となっており、事業所の課題、行事、事故報告等を推進委員で話し合う場になっていない現状がある。	運営推進会議を他職種との情報交換の場として助言、提案をいただきながらホーム運営に役立てる。	①福祉事故等、ホーム内で困っていることを委員で話し合い解決策を見出す。 ②議題に応じてゲストを招き情報共有に努める	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。